区政のここをきく



（一般質問要旨）

＊９月１４日・１５日の本会議にて、一般質問が行われました。
＊二次元コードから一般質問の動画が視聴できます。

問＝議員からの質問　答＝区からの答弁　その他＝その他の質問項目



菅谷 元昭

（自民党）

■ 公園整備について

問

新たなシンボルとなる浄水場跡地の公園整備では、少年野球グラウンド機能の継続や高齢者のグラウンドゴルフの活動場所の確保など、これら多世代が配慮し合い、安全に利用することができるよう、柔軟な運用の実現について、区の見解を問う。

答

発災時の避難機能も考慮し、多様な使い方ができる広場を敷地の一部に設ける予定であり、整備後の管理運営についても利用する時間帯や曜日を区分するなど、誰もが利用しやすい仕組みづくりも検討していく。

問

公園における暑さ対策として、子どもや高齢者が安全に過ごすことができるよう、よしずの設置などに加え、全区的な熱中症対策として、ミスト噴霧設備の積極的な導入拡大とベンチ周辺の日陰対策の強化に取り組むべきと考えるが、見解を問う。

答

公園等によしずやミスト装置を導入したほか、宮前公園第三期等への水遊び場やミスト装置の設置も計画しており、今後も、緑陰効果を見据えた植樹やベンチの配置・パーゴラの活用など、取り組みを強化していく。

■ 災害対策について

問

災害が発生した際速やかに被災者のもとへ必要物資を届ける手段として、ドローンを使った空路による運搬を検討すべきと考える。また、すでに区内では防災船着場が整備されていることから、有事の際の河川を利用した物資等の運搬について、区の見解を問う。

答

現在３社と協定を締結しているドローンによる運搬について、実効性ある体制構築を図るとともに、河川の利用に関しても、区内３ヶ所に整備した防災船着場の具体的な運用等について、検討を進めていく。

その他

○学校給食について
○火葬場問題について

傍聴のご案内

区議会で開会される本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、会議当日に区役所本庁舎５階の議会事務局で受付の上、傍聴券を受け取ってください。

◀傍聴のご案内

区政のここをきく （一般質問要旨）



山口 幸一郎

（公明党）

■ 熊本地震や頻発する豪雨災害を踏まえた今後の災害対策について

問 浸水想定区域図や下水道の排水能力がわかる内水ハザードマップを整備し、道路冠水を防ぐ雨水桝の清掃の徹底、区民への周知・協力を進めるべきと考えるが、見解を問う。

答 現在、ハザードマップを鋭意作成しており、整備後は区民に広く周知するとともに、内水氾濫と外水氾濫の違いや、平時から取り組むべき対策等、情報発信に努めていく。

■ スマホアプリ等を活用した区民サービスの向上について

問 町会費徴収のデジタル化を調査・検討するとともに、導入経費等の支援や高齢の役員等への伴走型支援など、町会運営の持続可能性を高める取り組みを進めるべきと考えるが、見解を問う。

答 アプリの開発・運営事業者と、決済機能の追加等について意見交換を行っており、今後も町会に必要な支援を行うなど、町会活動における更なるデジタル化を推進していく。

その他 ○ガイドヘルパーの確保と移動支援の利用環境改善について



清水 啓史

（ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属））

■ 荒川区基本構想について

問 ２０４０年の荒川区の将来像を示した基本構想に「ひとがいきる　ともにつくる　あらかわ」とビジョンが掲げられた。「荒川区に住んでいてよかった」と区民が実感出来るよう、策定に込めた思いを問う。

答 区に関わる人が地域の一員として個性や強みを活かし、生き生きと活動するとともに、多様な「ひと」が繋がり、共に未来の荒川区をつくっていくという決意を反映している。

■ 路上喫煙について

問 駅を中心に路上喫煙禁止地区が６地区指定されているが、その周辺において喫煙状況が見られる。

受動喫煙の視点からも、密閉型喫煙所の設置と、公開空地等も含めた路上喫煙禁止地区の拡大及び見直しについて見解を求める。

答 今年度実施している喫煙マナー啓発の強化について効果検証を行い、路上喫煙禁止地区指定の在り方も含めて必要な対策を検討し、喫煙マナーのより一層の向上に努めていく。

その他 ○ごみ集積所・資源回収拠点における不適正排出について



横山 幸次

（共産党）

■ 区の防災対策、防災街づくりについて

問 感震ブレーカーと家具転倒落下防止は１００パーセントを目標に、高齢者や障害者等世帯を中心にアウトリーチで設置を促進するとともに、木造密集地域を最優先にした全戸設置に向けた計画の策定を求める。

答 令和７年４月から、木造密集地域の木造住宅の補助率を大幅に引き上げるなど、木密地域を優先した取り組みや働きかけを強化しており、これらに加え、木造密集地域における助成制度等拡充の検討を進める。

問 住宅の低コスト耐震改修工法は、都も補助メニューに入れており、その普及には地元の建設事業者の協力が必要となり、区内の仕事興しと区内建設業の育成にも繋がるため、区内建設関連事業者と協力して、本工法の導入を進めることを求める。

答 令和８年３月に改定した荒川区耐震改修促進計画において、新たに「安価で工期の短い耐震改修工法（低コスト工法）」の普及・啓発を掲げており、木造耐震化推進事業の助成対象であるため、今後も関係団体と連携して普及を図っていく。

■ 区財政と公共施設等総合管理計画の抜本的見直しについて

問 今後の行財政運営にあたっては、暮らしと営業を守る施策を最優先にしつつ、公共施設更新の在り方の優先順位を明確にすること。更新にあたっては小中学校、区民施設を最優先にした計画にすることを求める。

答 区では、公共施設等総合管理計画の改定を進めており、施設の建替えや更新にあたっては、学校を含め、区民に直接関わる施設に優先的に対応する方針で、全体の調整を進めているところである。

その他
- ○全ての子どもの健やかな成長のために
- ○ケアの力を強め、住み続けることのできる地域社会を
- ○平和行政をさらに前に

会議の音声配信

本会議及び委員会の音声をYouTubeで配信しています。

会議当日にライブ配信を行うほか、荒川区議会YouTubeチャンネルから過去の映像や音声が視聴できます。

※区議会ホームページからもご視聴いただけます。

◀音声配信

区政のここをきく（一般質問要旨）



久家 しげる

（立憲民主党）

■ 荒川区の指定管理者制度について

問 導入から２０年以上が経過した指定管理者制度について、これまでの評価・認識を問うとともに、今般の不祥事を踏まえた再発防止策や、今後の指定管理者制度に対する区の方向性と理由について、見解を問う。

答 実績評価におけるチェックの仕組みの充実や、施設職員との信頼関係を築きながら、指定管理者制度を適切に活用し、サービス向上と効率的運営が図られるよう取り組む。

■ 公園整備と河川の活用について

問 隅田川沿いの各大規模公園のコンセプトや、公園整備の進め方について区の認識を問う。また、地域住民の意見を取り入れるとともに、公園整備を進めるにあたり、新たに船着場を整備することを求める。

答 公園整備にあたっては、区民の意見を幅広く伺い、より良い計画となるよう検討する。船着場設置の可能性については都と協議し、隅田川の活用について調査・研究を進める。

その他
○多文化共生地域社会の実現に向けて
○「荒川区花と緑の基本計画」の改定について



山田 晴美

（あらかわ子育ての会）

■ ラングウッド地下２階の今後について

問 ラングウッド地下２階を今後、どのように活用していこうと計画しているか。子どもの室内遊び場としての活用可能性や専門家からのアドバイスの是非について見解を問う。

答 施設特性や費用対効果も踏まえ、あらゆる活用可能性について検討を進める。子どもの室内遊び場としての活用は、施設面や運営面において課題が多く、困難と考えている。

■ 子ども達の更なる身体機能・体力向上について

問 子どもたちの身体機能の向上、体力の向上について、有事の際を想定した身体機能の使い方など、「生きる力」という観点からも本気で取り入れる必要があると考えるが、区の見解を問う。

答 災害等の緊急時において、状況に応じた判断ができる力を高め、安全に自らの生命を守る行動が取れるよう、日頃から子どもたちの体力及び生き抜く力の向上に努めていく。

その他
○クラス運営、学び合い授業の推進について



若林 由季

（自民党）

■ つくばエクスプレス延伸を契機とした南千住駅周辺の将来像について

問 つくばエクスプレス（ＴＸ）東京駅延伸・臨海地域地下鉄との接続を要望だけで終わらせず、区にもたらす効果をどのように認識し、今後の南千住をはじめとする街づくりに、どう繋げていくのか、見解を問う。

答 鉄道利用者が行き来しやすい動線確保や、一体感ある駅前空間創出等について、ＪＲと協議を始めており、安全性や回遊性等を踏まえ、各鉄道事業者と連携を図り、駅前の賑わいの創出等について、検討する。

問 ＴＸの延伸を見据え、南千住駅の新たな改札口設置の可能性をＪＲと協議を進めるとともに、中道区道を単なる通過道路にするのではなく、歩きたくなる道として、新たな賑わいや交流を生み出す空間へとすることを要望するが、区の見解を問う。

答 北口改札の新設は難しいと回答を得ている一方、駅構内から中道区道沿道店舗の北側への改札増設は、今後、ＪＲと協議を行う。また、中道区道が再整備によりウォーカブルな空間となり、駅周辺の魅力向上につながるよう、検討を進めていく。

■ 視覚・聴覚障がい者支援の視点を取り入れた地域防災人材の育成について

問 中学校防災部等の活動に、視覚・聴覚障がい者への声かけや誘導を体験するプログラムを導入するとともに、当事者の声を直接聞きながら学ぶ機会を設け、「支援できる人を育てる防災」を進めることを求める。

答 中学校防災部の活動で、視覚・聴覚障がい者の方々への接し方を学ぶことは、活動の重要な方針の一つになるものであり、人に、地域に優しい、頼れる防災ジュニアリーダーの育成に向け、取り組みを進める。

その他

○学校プールにおける暑さ対策と教育環境の整備について

○成年後見制度の法改正を見据えた支援体制の構築について

会議の字幕配信

本会議は字幕配信も行っています。

会議当日、区議会ホームページからご覧いただけます。

傍聴席で利用される場合は、専用のタブレット端末を貸し出します。利用を希望される方は、傍聴受付の際にお申し出ください。

◀字幕配信

区政のここをきく（一般質問要旨）



松田 智子

（公明党）

■ 成年後見制度について

問 成年後見人等が安心してその役割を担える環境を整えるためにも、予算の増額とともに、具体的でわかりやすい資産要件を設定し、助成制度が不交付になることのない制度にすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 一律の資産要件の設定には、個々の生活状況や区民間の公平性を考慮し、慎重に検討する必要がある。法改正を踏まえ、助成要件を検討し、窓口や制度の周知を徹底する。

■ 介護従事者の働き方について

問 訪問介護、在宅ケア従事者の安全確保やカスタマー・ハラスメントに対する相談体制の充実、警察機関との連携、２人訪問などの安全確保に対する支援など、介護事業所を支える体制整備について、見解を問う。

答 介護サービス事業所がハラスメントに関する理解を深め、発生時に適切に対応できるよう、研修や情報発信、関係機関との連携等を通じて、介護に従事する方々が安心して働ける環境づくりに取り組んでいく。

その他 ○西日暮里駅前再開発地域について



竹内 明浩

（ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属））

■ ガスヒートポンプ空調の導入と災害関連死を防ぐ避難所機能強化

問 学校施設を地域防災拠点に位置付け、電源自立型ガスヒートポンプの導入を含めたエネルギーの複線化と災害関連死を防ぐ避難所機能の強化を計画的に進めることを要望する。

答 ガスヒートポンプ式空調設備は、様々なメリットがある一方、費用等の課題もある。避難所の快適な温熱環境は、災害関連死を防ぐため、導入事例も研究し、検討を進める。

■ 排泄予測支援機器（DFree）の日常生活用具への認定について

問 障がいのある方の自立と社会参加、家族・介護者の負担軽減を図るため、排泄予測支援機器を日常生活用具給付等事業の排泄管理支援用具の対象品目として認定することを求める。

答 現在排泄予測支援機器は、障がい分野では区の給付対象品目に含めていないが、先行自治体における導入効果等の調査・分析を踏まえ、給付要件等について検討していく。

その他 ○東京都立大学荒川キャンパスとの災害協定を活かした地域防災力の更なる強化について



夏目 亜季

（自民党）

■ シティプロモーションの戦略化について

問

荒川区シティプロモーション基本方針を策定する今だからこそ、荒川区らしさを具体的に言語化し、ターゲットごとに情報の届け方を変えるマーケティングの視点を取り入れるとともに、参加人数や閲覧回数というアウトプットだけではなく、区民や区を訪れた方の意識や行動がどう変化したかというアウトカムまで評価する仕組みを導入するほか、地域を担う人の力を高めることを成果として位置付ける。新たな基本方針において何を実現し、どのような区を目指すのか、見解を問う。

答

基本方針の策定にあたり、区ならではの強みを具体化し、全庁で共有できるよう検討を重ねるとともに、マーケティングの視点を取り入れた戦略的な発信を行えるよう、庁内にプロジェクトチームを設置し、専門家の意見も伺いながら検討を進めていく。区民の区への愛着度や誰かに勧めたいという推奨意欲などを評価指標として方針に位置付け、成果検証に努める。職員一人ひとりが区ならではの街の良さを一層引き出し、全庁を挙げて「選ばれる荒川区」の実現に取り組んでいく。

■ 緊急避妊薬の薬局販売と地域連携について

問

緊急避妊薬の薬局販売に伴う、区内薬局と区関係機関との地域連携体制の構築や、性暴力等が疑われるケースにおける薬剤師向けの実践的な初期対応について、また、緊急避妊薬の購入者に対する情報提供について、見解を問う。

答

緊急避妊薬の購入機会を若者や女性へのプレコンセプションケアや支援提供の接点と捉え、薬局を地域支援の重要な拠点と位置づけているため、今後も連携を深め、多面的な支援体制の強化を図っていく。

その他

○ＳＮＳ時代の科学・ヘルスリテラシーについて

会議録の閲覧

○インターネットで閲覧

「荒川区議会会議録検索システム」から過去の本会議及び委員会の会議録や会議資料をご覧いただけます。

○区の施設で閲覧

ゆいの森あらかわ等の区立図書館、区役所地下１階の情報提供コーナーで紙の会議録が閲覧いただけます。

◀会議録検索システム

区政のここをきく（一般質問要旨）



北村 綾子

（共産党）

■ 急加速する気候変動に本気の対策を

問 区内で行われるイベントにおいて環境に配慮して実施することはイベントの魅力となり、啓発にも繋がる。区内のイベントでＣＯ２削減の協力を主催者に求め、また、区が支援することについて、見解を問う。

答 区主催イベントや区内イベント主催者に対し、環境負荷低減の取り組みへの協力を働きかけるとともに、主催者が環境配慮型のイベントを実施しやすい環境づくりに努める。

■ スポーツ・文化・芸術分野で活躍する方々への支援充実について

問 スポーツ分野での大会参加補助や活動支援補助に準じて、文化・芸術分野においてもコンクール出場や展覧会の出展に対して同様の支援を行うべきと考えるが、見解を問う。

答 芸術・文化の分野で大会出場する際の補助金支給は、ジャンルによっては補助要件を明確に定めることが難しいという課題もあるため、先行事例等の調査・研究を行っていく。

その他
○従業員賃金引き上げを行う中小事業者に対する区の直接的な支援実施について



山本 剛

（ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属））

■ ＡＩ教育の導入に対する区の方針

問 学校指導要領の改定で生成ＡＩが加わることは、従来の「学力重視」または「個性重視」としていた教育行政が新たな局面を迎える重要な分岐点となるが、ＡＩ教育の導入と今後の進め方について、見解を問う。

答 令和７年度から文部科学省の教育課程特例校の制度を利用した情報科を汐入小学校に設置しており、今後は区内の複数校へ取り組みを拡大することも含めて検討を進める。

■ 西日暮里鉄道踏切の遮断時間短縮と安全対策について

問 踏切での安全性を確保するため、列車の速度に応じて遮断機が最短で開閉するよう、踏切対策基本方針に基づいてＪＲに改善を求めるなど対応すべきと考えるが、認識を問う。

答 ＪＲ南武線などで導入されている「賢い踏切」が貨物線の踏切においても導入されることとなれば、事故防止や災害時の安全安心に繋がるため、ＪＲに要望していく。

その他
○増税によらないたばこ税収上振れの可能性と税収確保の意気込みについて
○不動産税制や賃料がファミリー層に与える影響を踏まえ、学校整備への区の考え
○災害時でも水が途切れない強靭な水道ネットワークの構築について



花澤 昭信

（ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属））

■ 人的資本経営の視点を取り入れた人材戦略について

問 経営戦略と人材戦略を連動させ、現在の職員数を起点とした定数管理だけではなく、区政として実現すべき目標を起点とした人材戦略を構築するべきと考えるが、見解を問う。

答 基本構想や行政運営計画等に掲げるビジョンや施策とそれを担う人材を一体的に捉え、必要となる人材や能力を明らかにした上で、計画的な人材マネジメントを推進していく。

■ 事業廃止が評価される文化の醸成と仕組みについて

問 今後の基本構想・行政運営計画の策定に合わせて、「何を廃止したのか」だけでなく「なぜ廃止し、何を生み出し、どこへ再投資したのか」までを一連の行政評価として可視化する仕組みを構築すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 新たな行政評価の仕組みの中で、課題や目指す方向性に基づき、選択と集中を繰り返し、行政サービスの維持と区民ニーズに対応した事業の実施や行政課題の解決に取り組む。

その他 ○新公会計制度の運用状況について



会派名称の変更

令和８年８月２１日付で会派名称の変更がありました。

（新）あらかわ子育ての会　　（旧）維新・子育ての会